



しいば川

第7号
令和3年5月31日
嬉野市立轟小学校
文責 校長 宮崎 耕一



学校教育目標

轟小学校ホームページ



夢を持ち、ふるさとを愛し、生き生きと学ぶ轟っ子の育成
～高い志を持つ、持続可能な社会の創り手とするために～

し っかり学ぶ

い たわる心をもつ

バ ランスの良い体をつくる

- ・自ら学び〔取り組み〕考える子
- ・真剣に学ぶ〔取り組む〕子
- ・自分の思いを表現する子

- ・自他を尊重し、思いやりのある子
- ・感動し、感謝する子
- ・ルールやマナーを守る子

- ・進んで運動する子
- ・チャレンジできる逞しい子
- ・心も体も健康な子

轟小学校運動会の実施期日を決定しました。

4月末から新型コロナウイルス感染症が急拡大したことから、5月23日(日)に計画していた今年度の運動会は延期し、9月以降に実施することを、前号の「しいば川」でお知らせしていました。

その後、9月以降に計画している行事との調整を行い、延期した運動会を、

11月7日(日)

に実施することとしました。

それに伴い、「しいば川」第5号でお知らせしていました9月以降の年間主要行事予定もいくらか変更することになりますが、PTA行事やPTA行事と関係する行事もありますので、6月24日(木)の第2回PTA役員会で協議した後、皆さまに改めてお知らせいたします。



マスク着用について

新型コロナウイルス感染症への対応については、これまでもお知らせをしています、

- 手洗い、消毒を徹底する
- "3密" を避ける
- 子ども同士の距離を保つ
- 室内でのマスク着用を徹底

ことを基本としています。

ただし、**運動時〔体育の授業も含まれます…〕についてはマスクを着用せずに行う**こととしており、先日の春遠足でもそうでしたが、**校舎外の行事の際もマスクを着用せずに行う**こととしています。

梅雨の中休みということもあり、**ここ数日は好天が続き気温が上昇していますので、熱中症を予防するためにもこのことを改めて徹底したい**と思っています。

もちろん、**感染リスクを御心配される保護者の皆さまは、上記の場合であってもお子様にマスクを着用させてくださって結構ですので、連絡帳などでその旨を担任までお知らせください。**



2年間分の汚れ

きれいにしました!

5月28日(金)、4年生以上の子どもたちが、6月から始まる水泳〔水遊び〕の学習でプールを使うことができるよう、プール掃除に臨んでくれました。

昨年度はプールでの水泳〔水遊び〕の学習を行うことができませんでしたので、もちろんプール掃除もしていません。

子どもたちは2年間分の落葉やごみを取り除き、2年間をかけてこびりついた水垢や汚れを一生懸命磨き落としてくれました。

6年生は前々日から落葉かきなどの下準備をしてきていました。さすが最上級生です!

4年生以上の子どもたち、ありがとう! 御苦労様でした!



令和3年度轟小学校学校評価計画

より良い教育活動を行うために学校運営を改善したり、保護者や地域の皆さまと共に子どもたちを育てていくために学校の取組を紹介したりすることを目的に、毎年度作成しているものです。

本校の学校教育目標を達成することができるよう、皆さまの御理解と御協力をいただきながら、今年度は以下のことを重点的に取り組みます。

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価については、全てにおいて成果指標を達成することができた。引き続き、取組の充実に努める。 ・食事の質の充実に向けた取組をしていく。 ・家庭と連携した将来の夢や目標をもつ児童の育成に取り組む。
------------------	---

2 学校教育目標	夢をもち、ふるさとを愛し、生き生きと学ぶ轟っ子の育成 ～高い志をもつ、持続可能な社会の創り手とするために～
----------	--

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①主体的な学びと豊かな表現力の育成 ②心に響く生徒指導及び特別支援教育の充実 ③健康で逞しい体づくり ④地域コミュニティ等との連携協働による教育活動の推進 ⑤ICT利活用教育の推進
------------	--

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。
	○根拠や理由を明確にして、自分の考えを書いたり話したりする能力の育成	○「友達と話し合う活動を通して、自分の考えの根拠や理由がはっきりした」と回答した児童の割合90%以上	・意図的、計画的な話し合う活動の場の設定や、考えを発表したり書いたりすることができるような支援を行う。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童90%以上	・道徳教育や体験学習、奉仕体験などの様々な活動を通して、児童の心に響く指導の充実を図る。 ・自分の成長や高まりを実感できるようなかわりや声かけ(教師の評価)を行う。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止について、組織的対応ができていると回答した教師90%以上	・いじめ問題に関する体制を明確化し、報告・連絡・相談を徹底する。 ・必要に応じて体制の見直しを行い、結果を保護者にも周知する。
	◎児童が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○将来の夢や目標を持つことに関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童90%以上	・キャリア・パスポートを活用し、節目の時期に児童が自身の変容や成長を自己評価できるようにする。また、その取組について、保護者へ周知を図る。
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●健康のために食事は大切であるとする児童90%以上	・学校栄養士と担任による食育の授業、食生活改善推進協議会と連携した授業や、食育月間の取組の充実を図る。 ・学校での取組を学校だより、学校HP、食育だより、コミュニティ通信等で積極的、計画的に発信する。
	○運動習慣の改善や定着化	○体育の授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分(1日平均1時間)以上の児童80%以上	・週に1回、縦割り班で外で遊ぶ日を設定し、運動や遊びに親しみをもって取り組めるようにする。 ・児童が体を動かすことの楽しさを味わうことができるよう、体育の授業の充実を図る。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限(月45時間)の遵守	・定時退勤日(毎週金曜日)を確実に実施し、18時に施錠する。 ・会議等の終了時刻を明示し、話合いの時間を削減する。
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
○小中連携	○小中連携による学力向上の推進	○中学校区で定めた学力向上の取組を達成した教師90%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3」を活用したわかる授業の確実な実施を図る。 ・意図的、計画的に「書く活動」と「話し合う活動」の場を設定する。
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が前年度より向上した教員90%以上	・特別支援教育に係る研修会の実施。 ・ケース会議の開催(随時)、配慮を要する児童の情報共有(毎週火曜日)と支援の共通実践の徹底を図る。
○ICT利活用教育の推進	○ICTを効果的に活用した教育活動の充実	○ICTに関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした児童80%以上	・ICT教育に関わる個人研修を年に一回以上実施する。 ・ICTの活用方法について全教職員で共有し、指導の充実を図る。
○保護者、地域との連携	○「コミュニティ・スクール」としての開かれた学校づくり	○開かれた学校づくりに関するアンケートにおいて、肯定的な回答をした保護者90%以上	・地域コミュニティと連携した教育活動の様子を、学校HPや学校・学級だより等で定期的かつ積極的に情報発信する。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育